

⚠ 注意 モデル表面に印刷物などが直接触れないよう
にしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW40

助産シミュレータフルセット

取扱説明書

目 次



- はじめに P.1
製品の特長とご注意
- ご使用の前に P.2
セット内容・ご使用上の注意
- 取扱のご注意 P.3

- 準備 P.4~P.7
- 実習 P.8~P.9
- 後片付け P.10

- 《妊婦内診実習》
- 準備 P.11~P.14
- 実習 P.15
- 後片付け P.16

- 《会陰裂傷縫合実習》
- 準備 P.17~P.18
- 実習 P.19
- 後片付け P.19



株式
会社 京都科学

このたびは、当社の「助産シミュレータフルセット」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は助産師に求められる基本技能の習得と助産技術の向上を目的に開発されたモデルです。分娩介助、妊婦内診、会陰裂傷縫合に関する実習教材としてご使用ください。

■ 特長

- 部品交換により、分娩期における分娩介助、内診、会陰裂傷縫合が1つのボディでトレーニングできます。
- 外陰部に伸縮性、復元性、耐久性に優れた新素材を採用しました。
- 正確な産道・坐骨棘・恥骨結合を再現。内診時のランドマークの他、分娩介助実習時に骨盤と胎児の位置関係を目で確認しながら解剖の理解に基づく手技の習得が可能です。
- 分娩介助の実習では、会陰保護から胎児・胎盤の娩出まで、より生体に近い演習が行えます。
- 内診実習では、子宮口開大度モジュールの交換で、5段階の子宮頸管の開大度の触診が可能です。

■ 実習項目

《分娩介助》

- 分娩体位別介助法
(仰臥位・膝手位)
- 会陰、肛門保護
- 胎児の娩出
(紺子分娩・吸引分娩)
- 脐帯の結紮・切断
- 胎盤の娩出
- 卵膜の確認
- 導尿カテーテルの挿入の手順

《妊婦内診》

- 内診
 - ・坐骨棘の確認による胎児の位置
(ビショップスコア)を確認
 - ・導尿カテーテルの挿入の手順
 - ・子宮頸部の細胞診標本の採集手順
- クスコ式膣鏡での確認

《会陰裂傷縫合》

- 会陰縫合法
 - ・ 単一結節縫合
 - ・ 垂直マットレス縫合

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

※ 製品の一部に伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊軟質樹脂を使用しております。

取扱説明書 P3 の注意事項をお読みいただき、適切な使用、保管をお願いいたします。

セット内容

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



a. モデル本体	1	d. 胎盤モデル	1	i. モデル固定ベース	1	m. タルカムパウダー	1
b. 外陰部ユニット (分娩介助・ 内診共通)	1	e. 脐帯	1	j. 子宮口開大度モデル	5	(パフ付)	
c. 胎児モデル	1	f. 切断用脐帯	3	k. 外陰部ユニット (会陰縫合用)	1	n. タオルケット	1
		g. 卵膜	5	l. 潤滑剤	1	o. パット	1
		h. 腹部ユニット	1				

取扱説明書



注 意

●取り扱いにご注意ください。 特殊軟質及び硬質樹脂を使用しており、また重量 がありますので、落下や強い衝撃を与えると破損 の原因となります。	●水又は中性洗剤で拭き取ってください。 汚れは水又は中性洗剤で拭きとってください。 アルコールやシンナーなどの有機溶剤 は、絶対に使用しないでください。
●印刷物をモデル表面におかないでください。 モデル表面に印刷物などが直接触れないよう にしてください。 樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。	●ボールペンやサインペンで書き込まないでくだ さい。 サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込む と、インクが吸収されて消えなくなります。
●高温多湿を避けて保管してください。 使用後は、高温多湿や直射日光のある場所 での保管は避けてください。 変形や故障の原因となります。	●表面が変色する場合があります。 長期間使用されない場合や経年変化で変色するこ とがありますが、ご使用には差し支えありません。

必ずお読みください！

■ 外陰部ユニット（2種）、胎盤モデル、切断用臍帯、子宮頸管ユニットの取扱い及び保管方法に関するご注意

各部には伸縮性と復元性、耐久性に優れた特殊な軟質樹脂を使用しております。

下記の注意事項を必ずお読みいただき、適切な取扱いと実習後の保管をお願いいたします。

- 実習後は外陰部ユニット（2種）、胎盤モデル、切断用臍帯、腔部ユニットにはタルカムパウダーを塗布し、付属の不織布の袋に入れ、梱包時の収納ケースで保管してください。



- 他の樹脂製品や印刷物が直接触れないようにしてください。

他の樹脂製品や印刷物が直接接触した状態で保管されると、表面に型が残ったり、印刷物のインクが吸収され、消えなくなる場合があります。

- 適切な温度・湿度で、直射日光を避けて保管してください。

外箱に適切な保管温度の目安となる警告用シールが貼付しております。

気温が 60°C 以下の場所で保管してください。

60°C 以上になると左端の○印のマークが緑色に変色しますので、すみやかに保管場所を移動してください。

※ 1度変色したシールは元の色に戻りません。

発色前

3F60	年	月	貼付
60	65	70	

発色後

3F60	年	月	貼付
60	65	70	

胎児モデルの組立

1. 胎児モデルの準備

胎児モデル、胎盤モデル、臍帯、切断用臍帯、卵膜、バット、潤滑剤を用意します。



胎児モデル



胎盤モデル



臍帯



切断用臍帯



卵膜



バット



潤滑剤

2. 胎盤モデルを専用の収納袋から取り出し、臍帯を取り付けます。

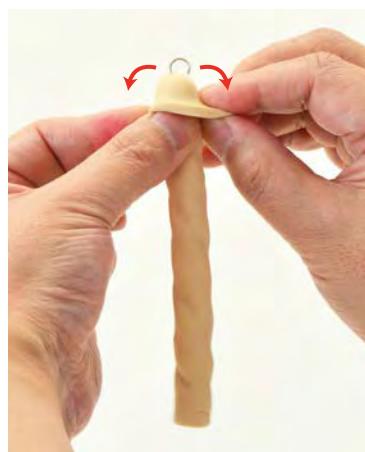
臍帯は先端がねじになっている方のリングを時計方向に回して胎盤に固定します。



3. 卵膜の中央に穴が開いているので、そこに臍帯を通します。



4. 切断用臍帯を専用の収納袋から取り出し、片側の先端部を裏返してフックを出し、そこに臍帯の金具を取り付けます。



胎児モデルの組立

4. 胎児モデル腹部のネジを緩め、中に入っているクリップを取り出します。



5. 切断用臍帯に胎児モデルの臍帯固定ねじを通してからクリップで先端を挟みます。



6. 胎児モデル腹部の凹部にクリップを戻して臍帯固定ネジを締め、臍帯を固定します。
胎児モデルの準備は完了です。



※臍帯固定ねじを締める際にクリップがあたると最後まで締めることができません。
クリップの向きを調整して臍帯固定ねじにあたらないようにしてください。

潤滑剤の塗布

実習前に必ず胎児モデル、胎盤モデルと卵膜、外陰部ユニットの内側に潤滑剤を充分に塗布してください。

1. 付属のバットに、胎盤モデルを取り付けた胎児モデルを置き、潤滑剤を塗布します。
潤滑剤は、胎児モデル全体と胎盤モデル上の卵膜部分に塗布します。



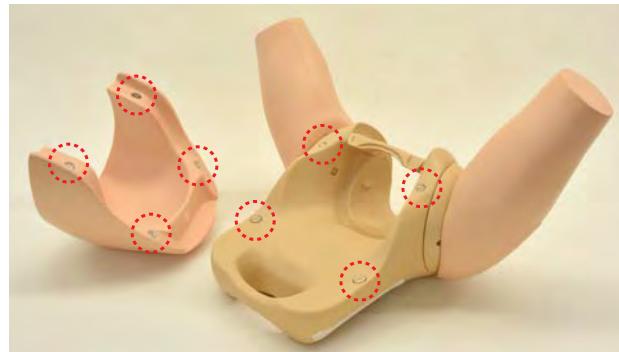
2. 外陰部ユニットの内側にも潤滑剤を塗布します。



※モデル本体に取り付けてから塗布いただいても構いません。

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部に持ち上げることで取り外すことができます。



モデル本体の組立

2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



3. ボディの腹部カバーを元に戻し、胎児モデルを腹部にセットして準備は完了です。

※胎盤モデルは必ず付属のバットに入れて実習を行ってください。



分娩体位・モデルの特長

実習は仰臥位、膝手位で行うことができます。



仰臥位



膝手位

《モデルの特長》

- ・骨盤と胎児の位置関係を目で確認しながら、娩出時における胎児の動きを確認する事が可能。
- ・伸縮性、復元性に優れた外陰部と胎児のサイズに適した産道を設定。ボディのハンドル部を軽く押さえながら小さな力で胎児を娩出する事が可能。
- ・胎児との位置関係を理解するための坐骨棘、恥骨結合を再現。



坐骨棘を結んだステーション0の認識が可能

実習項目

○ 会陰、肛門保護



○ 分娩介助



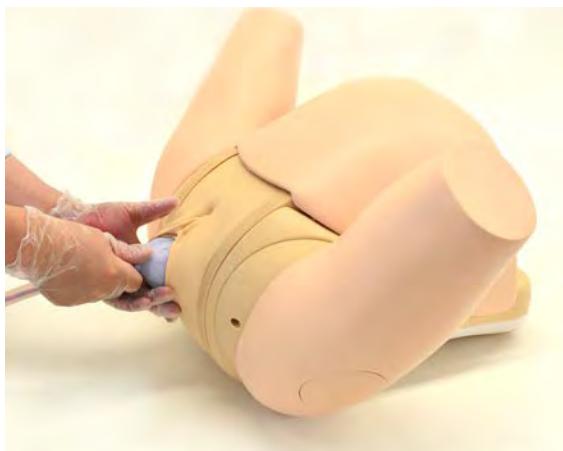
○ 胎児の娩出



○ 脇帯の結紮、切断



○ 胎盤の娩出



○ 胎盤・卵膜の確認



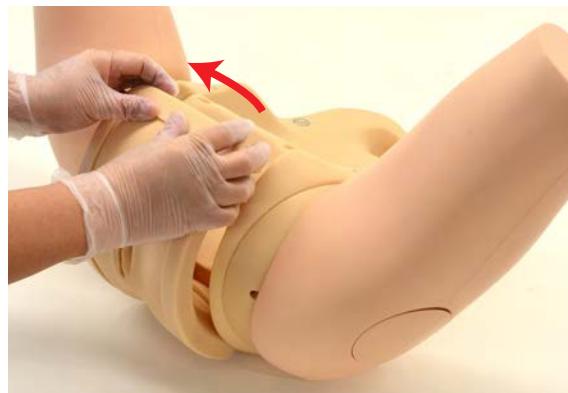
後片付け

○ 外陰部ユニットの取り外し

1. 腹部カバーを持ち上げ、ボディ本体からはずします。



2. 外陰部ユニットのフレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。



○ 胎児モデルの分解

1. 組立と逆の手順で、臍帯、胎盤モデルを取り外します。(P4~P5を参照)

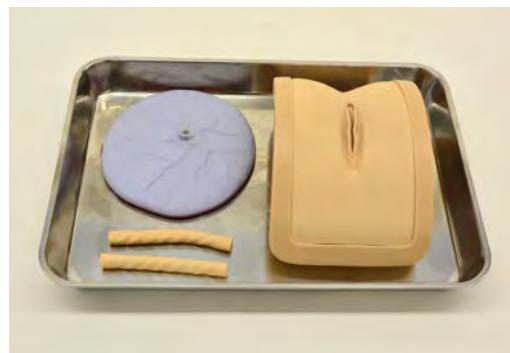
○ 各部の清掃と保管

1. ウエットティッシュ等で胎児モデル、臍帯、卵膜、外陰部ユニットに付着した潤滑剤を拭き取ります。水道水で洗い流していただいても構いませんが十分に乾燥させてください。
乾燥後、各部品に付属のタルカムパウダーを塗布します。



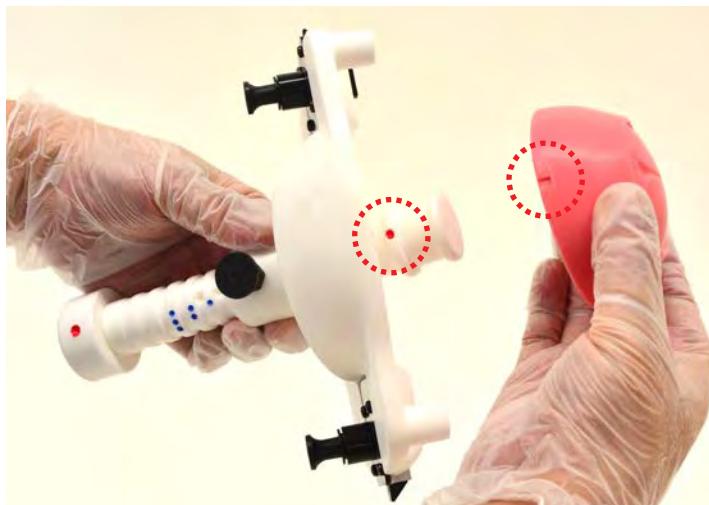
2. 外陰部ユニット、胎盤モデル、切断用臍帯は特殊軟質樹脂を使用しておりますので、保管時は付属の不織布の袋に入れるか、実習に使用したバットに入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されますと長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。



子宮口開大度モジュールの取り付け

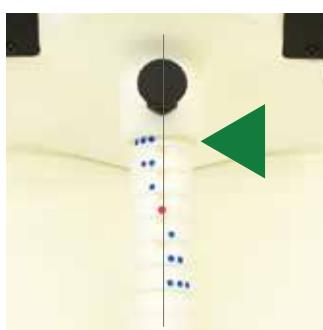
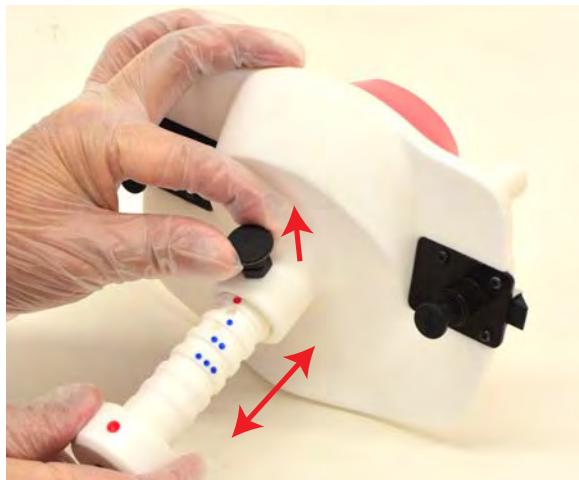
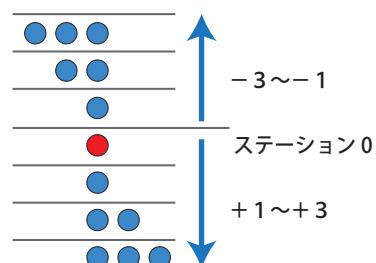
1. 子宮口開大度モジュールをモデル固定ベースに取り付けます。モデル固定ベース先端のマークと子宮口開大度モジュールの目印を合わせます。



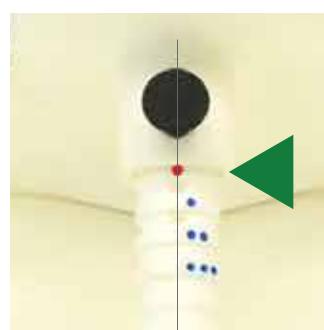
※モデル固定ベースの向きにご注意ください。先端の細い方に子宮開大度モジュールを取り付けます。

2. モデル固定ベースの黒いつまみを持ち上げると支柱はフリーに動きます。支柱に取り付けた子宮口開大度モジュールを前後に移動して、胎児の下降度を設定することができます。

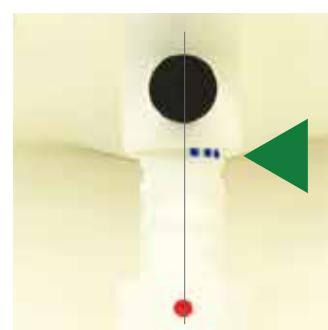
※胎児の下降度は7段階で設定することができます。



ステーション -3



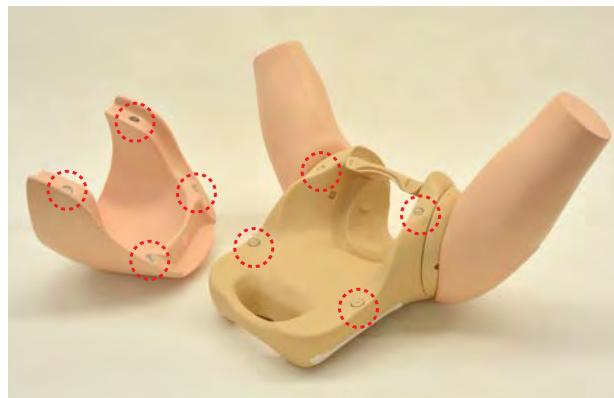
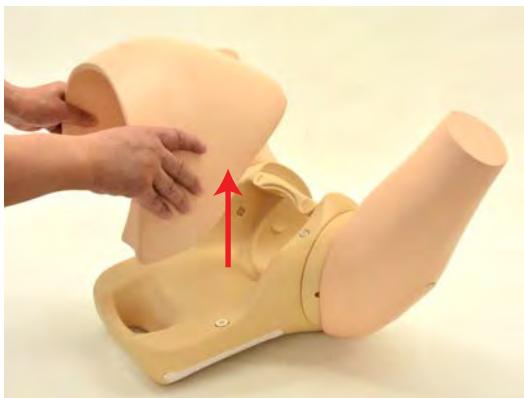
ステーション 0



ステーション +3

モデル本体の組立

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部に持ち上げることで取り外すことができます。



2. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をモデル本体の凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



モデル本体の組立

3. 膜部ユニットをモデル本体に取り付けます。上下方向を間違えないようにしてください。

4 箇所の磁石部分を合わせながら腹部カバーを取り付けます。



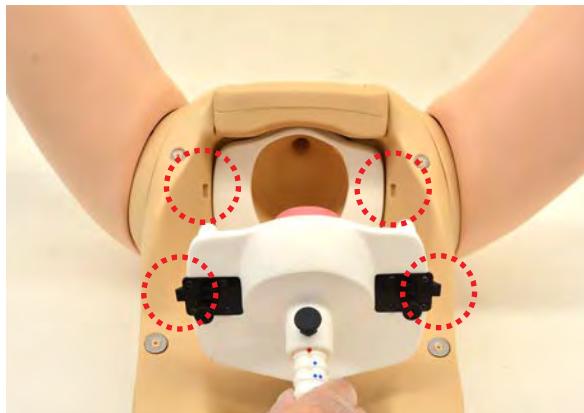
潤滑剤の塗布

1. 膜部ユニットの内側、外陰部及び子宮口開大度モジュールに付属の潤滑剤を塗布します。



子宮口開大度モジュールの取り付け

1. モデル固定ベースのモデル本体への取り付け

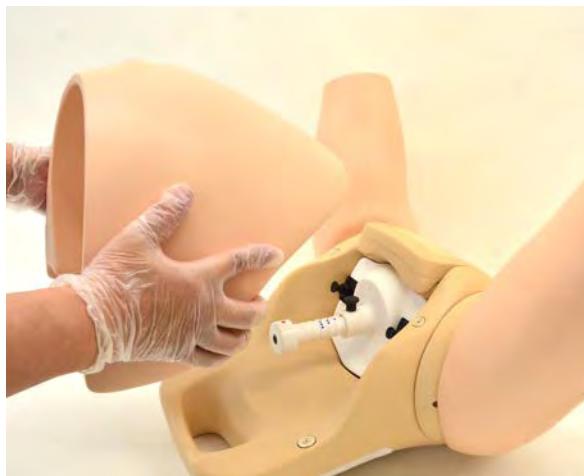


子宮口開大モジュールを取り付けたモデル固定ベースをモデル本体の内側からセットします。

※モデル固定ベース両サイドのフックをモデル本体の凹部に合わせて、カチッと音がするまで差し込みます。



2. 腹部カバーを取り付けると準備完了です。



実習・モデルの特長

実習は手袋を装着し、指に潤滑剤を塗布して内診を行います。

子宮口開大度モジュールは5種類です。



《モデルの特長》

- ・坐骨棘を結んだステーション0の認識が可能。
- ・小泉門による児頭の位置確認が可能。

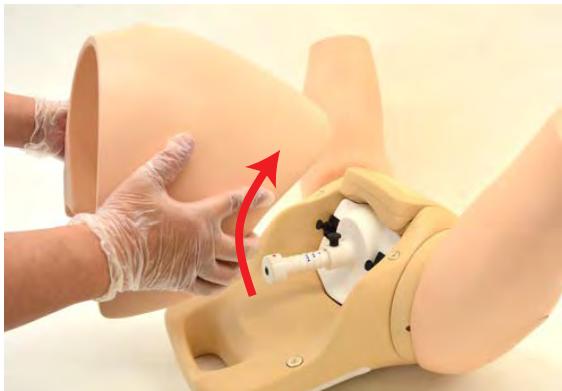


○ 子宮口開大度モジュールの交換

モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いてロックを外し、固定ベースを取り外します。子宮口開大度モジュールを付け替え、固定ベースを再度セットして実習を行います。



後片付け



○外陰部ユニットの取り外し

1. 腹部カバー持ち上げモデル本体からはずします。



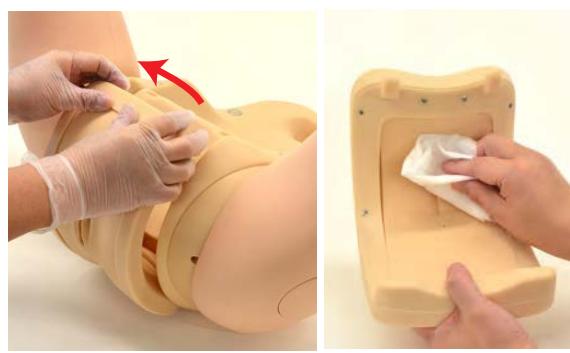
2. モデル固定ベースの左右にある黒いつまみを手前に引いて固定ベースを取り外します。
ウエットティッシュ等で子宮口開大度モジュールに付着した潤滑剤を拭き取ってください。



3. 膀胱ユニットの端を指で持ち、手前に引き出します。ウエットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。



4. 外陰部ユニットは、フレーム上部を手前に引いてボディから取り外します。ウエットティッシュ等で付着した潤滑剤を拭き取ってください。



※潤滑剤は水道水で洗い流していただいて構いませんが、十分に乾燥させ、付属のタルカムパウダーを塗布してください。

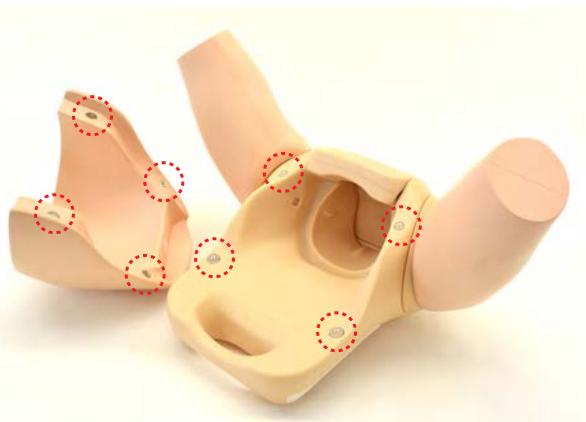
外陰部ユニットと膀胱ユニットは、特殊軟質樹脂を使用しております。

保管時は、外陰部ユニットと膀胱ユニットは付属の不織布の袋に入れて保管してください。

注：他の樹脂製品や印刷物と一緒に保管されると、長時間接触した他の樹脂製品が変質したり、印刷物のインクが吸収されて消えなくなります。

外陰部ユニットの取替え

1. モデル本体の腹部カバーをはずします。カバーは4か所のマグネットでボディに固定されており、上部に持ち上げることで取り外すことができます。



2. 納品時に取り付けられている内診・分娩介助共通の外陰部ユニットを取り外します。外陰部ユニットのフレーム上部を持ち、手前に引くとユニットをボディから取り外すことができます。



- 会陰縫合用の外陰部ユニットへの交換



外陰部ユニットの取替え

3. 外陰部ユニット下部2箇所の凸部をボディの凹部に差し込み、そのまま上部を押さえると固定されます。



注：外陰部ユニットとボディの隙間に指を挟まないようご注意ください。



4. 腹部カバーを取り付けて準備は完了です。



会陰裂傷縫合実習

会陰裂傷第1度を想定した縫合法トレーニングがくり返し可能です
会陰裂傷縫合実習では単一結節縫合と垂直マットレス縫合を実習します。



後片付け

1. 実習は縫合糸を切って縫った糸を取り去って頂くと、続けてトレーニングできます。
2. 新しい外陰部ユニット（会陰裂傷縫合用）の交換や他の外陰部ユニット（内診・分娩介助共通）への交換方法は17～18ページを参照に行ってください。

⚠ 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品

コード	品名	コード	品名
11415-030	外陰部ユニット (内診・分娩介助共通)	11416-030	切断用臍帶10本組
11417-020	外陰部ユニット (会陰縫合用)	11416-040	卵膜 5枚組
11458-030	胎児モデル	11415-010	子宮口開大度モジュール 5種組
11416-020	胎盤モデル	11415-040	潤滑剤 500ml (詰め替え用)
		11415-050	潤滑剤 500ml (詰め替え用)と 専用ボトル



外陰部ユニット
(内診・分娩介助共通)



外陰部ユニット
(会陰縫合用)



胎児モデル



胎盤モデル



切断用臍帶10本組



卵膜 5枚組

潤滑剤 500ml (詰め替え用)と専用ボトル



子宮口開大度モジュール
5種組

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



株式会社 **京都科学**

■ 本社・工場

〒612-8388

京都府京都市伏見区北宿小屋町15番地

TEL : 075-605-2510 (直通)

FAX : 075-605-2519

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ 東京支店

〒113-0033

東京都文京区本郷三丁目26番6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL : 03-3817-8071 (直通)

FAX : 03-3817-8075